

「自然と人間」編集部ではみなさまからの情報をお待ちしております。イベントのタイトル・内容・日時・場所・参加費・主催者連絡先を明記の上、FAX 03-5496-9020 もしくは 電子メール info@n-and-h.co.jp までご連絡ください。イベント開催月の前月 15 日を締め切りとします。

books



『核の力で平和はつくれるのか』
市民意見広告運動 編

本書は、今なお収束のメドさえ立たない福島原発に対し、脱原発の動きが全国的に高まるなかで急ぎよ編集された。仮定的質問として、核兵器の保有と原子力発電の常備・永続的稼働を肯定する主張を18項目取り上げ、脱原発に対する疑問や批判に込める形で、原発依存体制の問題を掘り下げている。●合同出版 1260円



『痴漢えん罪にまきこまれた憲法学者』
飯島滋明 著

「えん罪」は人権侵害の最

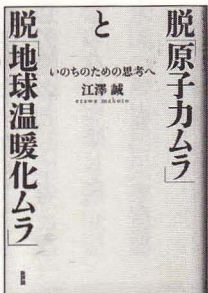
たるものであり、基本的人権の日本国憲法の下では決してあってはならない。ところが2011年5月3日の憲法記念日、憲法学者（しかも平和問題を研究している）の私が広島で痴漢の現行犯として逮捕され、実名で報道される体験をした結果、あってはならないはずの「えん罪」が日本で多くあると感じた（「はじめに」より）。本書は、憲法学者である自らの体験からえん罪はなぜ起きるか、どうしたら防ぐことができるか、を渾身の力をこめて執筆した労作。●高文研 1365円



『幸福な田舎のつくりかた』
金丸弘美 著

地域でも、これまでの商業や農業、観光という概念が急変していて、新しい価値観が求められている。本書に登場するところは、従来のやり方を脱し、いずれも地域の人々が地域の豊かさを自らの手

で見つけ、さまざまな資源や人をつなぎ、自分たちの価値観を発信し、共感を得ている地域である。それは、ローカルの徹底こそが、じつはグローバルに通用するものだと、改めて知らしめてくれる（本文）。●学芸出版社 1890円



『脱「原子力ムラ」と脱「地球温暖化ムラ」——いのちのための思考へ』
江澤誠 著

フクシマ原発事故で、「原子力ムラ」の存在と非道ぶりが明るみに出た。同じように、ウソをたれ流し新たな利権に群がる「地球温暖化ムラ」が存在する。そのウソの一つは「原発は地球温暖化の原因とされるCO₂を排出しない」というもの。それらはお、「原子力帝国」と「温暖化帝国」として立ちはだかつていかに闘うか。●1890円

新評論